ダイプラハウエル管による道路下カルバート工の設計・施工方法（高耐圧ポリエチレン管）

登録番号： CB-980025-V ★

高い強度、可とう性で高土被り・軟弱地盤へ適応

高耐圧ポリエチレン管（JIS K 6780）を道路下カルバート工に用いることで公共工事の主な課題となるコスト縮減・工期の削減、工事の簡素化、小規模化を図ることが可能となった。主に高盛り土下、軟弱地盤、急傾斜配管などの埋設条件に適した特性を有し、大きな期待を担った次世代本設カルバート管材として国土交通省、地方自治体、公共機関などに多数の実績があり、有用な技術として平成22年度に続き「平成23年度準推奨技術（新技術活用システム検討会議〈国土交通省〉）」に選定された。



φ3000 高盛土カルバート工

【特徴】 ①管体強度が高く、断面たわみ性は管側部の埋戻土の締固め効果による土圧反力で補完され高盛り土埋設に適用できる ②本体の可とう性・継手部の屈曲性能を有し地盤追随性に優れ軟弱地盤に対応できる ③長尺、軽量であるため施工性が向上し施工期間の低減が図れる ④特殊ゴム輪接合により接合部の水密性が優れる ⑤耐食性、耐衝撃性、耐摩耗性、耐候性に優れる ⑥粗度係数が0.010と小さいため、1ランク小さい口径とできる場合がある ⑦曲管、分岐管および短管（1～4m）など部材の品揃えも豊富である。

同管は、これらの性能が認められて「道路土工 カルバート工指針」（発行／（社）日本道路協会）に掲載されている。

お問い合わせ

大日本プラスチックス株式会社

〒108-6030 東京都港区港南2-15-1
品川インターシティA棟30F
TEL. 03-5463-8501 FAX. 03-5463-1120
URL http://www.daipla.co.jp